



希少植物（オクエゾサイシン）

## 今 利 一 〔市民連合〕

### 市民の目による監視活動が必要

**問** 布礼別神社山に生息する希少動植物の保護について、今後の教育素材としての活用は。

**答** 布礼別神社山に生息している希少動植物については、環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている。過去に上富良野町の生息地においてマニアにより乱獲され絶滅した経緯があり、平成22年1月、日本蝶類保護協会から、布礼別神社においても同様の行為が行われる

事態を懸念し、生涯学習センターに相談があった。その後看板を設置し乱獲防止を図っている。教育素材についての活用は、富良野の自然に親しむ集い、放課後子ども教室での観察会を実施、今後も実施し生息環境を守る。

### 教育の中立性を保つ

**問** 教育委員会制度改革は、6月13日に参議院本会議で可決、成立したが今後の教育委員と行政との関係について伺う。

**答** 改正の概要については、教育長と教育委員長を一本化した新たな責任者としての教育長が教育委員会を代表することになる。今後における市の考え方は、教育の中立性を保ちながら教育委員会を引き続き執行機関と規定している。今後も法に基づいて進めていく。教育委員会としては、本市の特色ある学校教育の実現に向け「すべては子ども達のために」を合言葉に、地域の子どもは地域全体で守り育てるという考えのもと、市校長会・教頭会をはじめPTA連合会などと連携を図り教育環境の整備に取り組む。

## 広 瀬 寛 人 〔ふらの未来の会〕

### 富良野市総合計画の進捗状況は

**問** 病後児保育施設の見通しは。

**答** 市アンケート調査の結果からニーズが多い状況なので各関係機関団体等と協議を進め、実現に向けて様々な角度から検討する。

**問** 児童館と放課後子ども教室の位置づけは。

**答** 保健福祉部と教育委員会との両部局間連携の下、平成26年度中に担当部局の一本化に向けて検討する。

**問** 畜産飼料自給率向上対策は。

**答** 平成25年度で68.5%となっており、平成32年度には73%まで向上させる目標を掲げている。

**問** 耐用年数を超えた庁舎改築事業の考え方と進捗状況は。

**答** 「庁舎等整備検討委員会」及び「庁舎・文化会館部会」を

設け庁舎、文化会館及びスポーツセンターの3つの大規模施設を検討中。将来人口を想定した施設の複合化、建設3施設の計画的整備年次、事業費の確保等、未だに多くの課題がある。



富良野文化会館

### 後期計画に向けた市長の基本的考え方は

**問** 現在市職員の雇用並びに管理職登用は男性189名、女性87名で部長職男性8名、女性0名、課長職男性40名、女性2名となっている。雇用の男女比率や女性管理職登用に目標を掲げる考えは。

**答** 男女共同参画の考えに基づき平成26年度から人事評価制度を導入していく。